

働きやすさとやりがいのために

健康経営への取り組み

当社では、従業員の健康保持や増進への取り組みが、企業価値、収益性などを高める投資であるとの考えに立ち、健康管理を経営的視点から捉え戦略的に実践する「健康経営」※を推進しています。

これまでの取り組みの結果、2020年度は健康経営優良法人の認定を取得することができました。引き続き、下記の健康宣言に沿って、フジタで働くすべての人の健康増進と企業価値向上に向けて健康経営に全力で取り組んでいきます。



※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

健康宣言

わたしたちは人々が心豊かに生きる社会の実現を目指しています。

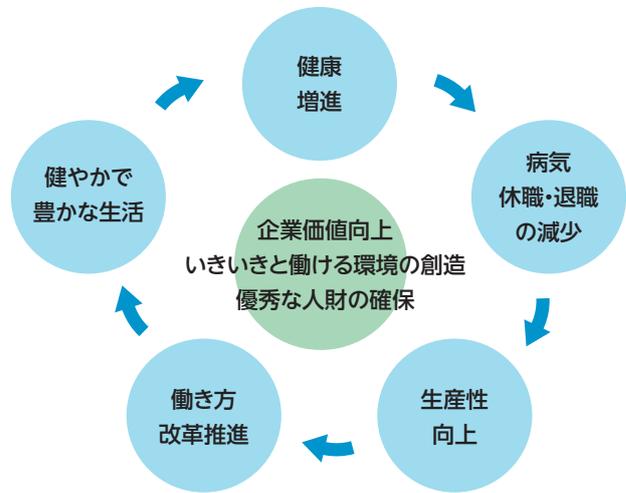
そのためには、従業員とご家族そしてフジタで働くすべての皆さんが健康第一で心身ともに健やかであることは欠かせません。

フジタは健康をとことん追求する会社を目指します。

企業の発展とフジタに関わる皆さんの健康維持増進はともにあるという考えのもと、健康意識が高まるように積極的に働きかけます。

そして自分らしく健康に働き続けられる企業を目指して健康経営に取り組むことをここに宣言します。

健康経営のPDCAサイクル

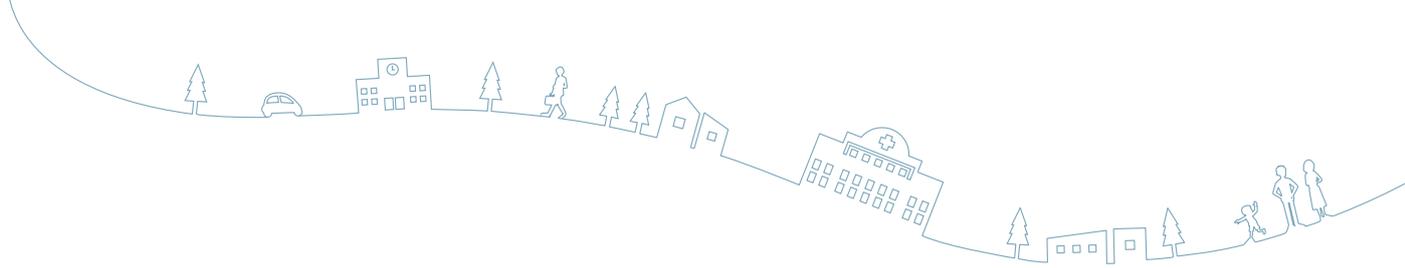


健康経営の三本柱

当社の「健康経営」方針として、「発信」「予防」「知識」を三本柱とした3か年計画を策定し、健康経営の現状を把握するために2018年度より実施している健康経営度調査の結果を踏まえながら、体系的に取り組みを進めています。2021年度は健康経営のさらなる推進を目的に健康経営専門の部署として「健康増進センター」を新設し、メンタル面も含めた包括的な健康の実現を推進できる体制を構築しました。

健康経営の主な取り組み

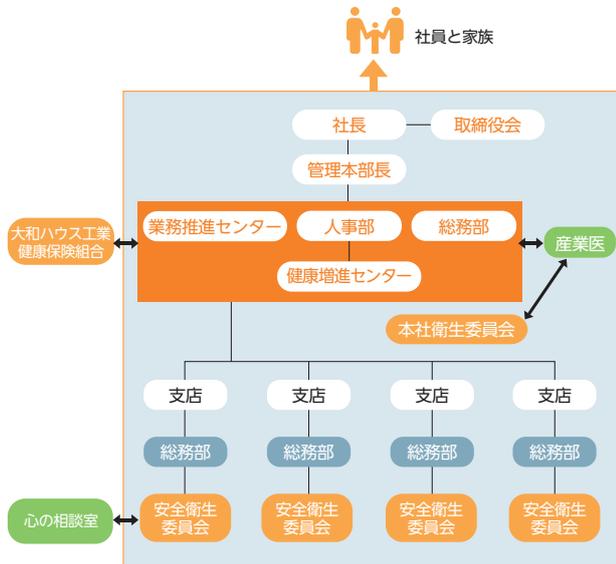
1. 発信 …………… 健康施策の積極的な発信
2. 予防 …………… 病気の重症化の予防
定期健康診断、二次精密検査受診の徹底
受動喫煙への対策
メンタルヘルス対策
健康診断結果データの活用
3. 知識 …………… 健康の保持・増進のための知識向上
健康知識習得の機会創出



3カ年計画

		2019年度	2020年度	2021年度
発信		・健康宣言の策定	・健康管理体制の強化、発信	
健康 施策	健康関連施策の検討	・健康関連補助金支給の検討・実施	・補助金、補助内容の拡充	・健康アプリによる全社的取り組み実施
	定期健診・二次検診受診率 100%			
予防	喫煙率 30%	〈目標〉喫煙率 25%	〈目標〉喫煙率 20%	
	禁煙対策	・禁煙時間の周知 ・禁煙時間の段階的設定	・禁煙時間の段階的設定	・就業時間内の全社禁煙(作業所を含む) ・喫煙所の撤去
知識		・健康セミナー開催 ・eラーニング実施	・専任産業医によるセミナー開催 ・eラーニング実施	

組織体制



3カ年計画の進捗

3カ年計画における2020年度目標の定期健診・二次検診受診率100%に対し、結果94%でしたが、2019年度の69%を大幅に上回る受診率を達成しました。二次検診受診率の向上では業務時間内での受診を推進するとともに、該当者の上司も含めた受診の呼びかけが結果に表れました。

また、2020年度のもう一つの数値目標である喫煙率25%に対し、結果は前年度より低下したものの28%と未達となりました。喫煙率の低下については、喫煙をやめるきっかけづくりを通じて実現することを目指しており、禁煙外来の補助金制度の導入などを実施しています。2021年度は、2022年度までの健康経営優良法人ホワイト500の取得を見据えて、引き続き2次検診受診率100%と喫煙率低下を目標としながら、定期健康診断で収集したデータの活用や、管理不良者へのフォロー体制の充実などを検討しています。また、復職者へのサポート体制などの構築も進めており、健康経営の基礎固めの年として取り組みを推進していきます。

Comment

2021年度より新設された「健康増進センター」では、従業員の健康保持・増進により企業価値の向上を図るためのさまざまな取り組みを計画しています。その取り組みの基本となるのが定期健康診断です。受診率100%をもって現在の健康状況を把握し、再検査が必要な方や近い将来疾病発症につながるリスクを持つ方に必要な治療を促すとともに、医療職

(産業医、保健師など)と連携して適切にフォローします。一方で、メンタル面での不調者も毎年一定数発生しています。メンタル不調者を発生させない未然防止はもとより、発症した場合に必要な専門的治療や休業、スムーズな職場復帰の支援などを行い、従業員の皆さんの健康づくりに注力してまいります。



管理本部人事部
健康増進センター長
小林 節

働きやすさとやりがいのために

健康経営実現のための2020年度の取り組み

管理不良者へのフォロー

定期健康診断の結果、管理不良者と判断された従業員については担当部門より上司に報告し、産業医や保健師と面談の上、医療機関の受診や治療を促しました。特に保健師との面談では、改善に向けた食事指導や生活習慣の指導なども行なっています。また、定期的に診断結果を提出してもらい、継続的なフォローに取り組んだ結果、該当者の半数以上の検査数値が改善しました。

健康補助金制度の開始

定期健康診断以外のがん検診などに対する補助金制度を開始しました。2020年度はインフルエンザへの予防接種については従業員の家族も対象にしたことで、1,500名を超える多くの方が制度を活用しました。

健康セミナーの実施

健康に対する理解促進を目的としたセミナーを実施しており、2020年度は本社を中心にオンラインで「免疫力アップと快眠」をテーマとしたセミナーを開催しました。オンラインという特性から、作業所や自宅など全国から各回約80名が参加し、これまでと比較してより参加しやすいセミナーとなりました。



オンライン健康セミナーの様子

eラーニングの実施

毎月発行している健康だよりの内容をもとに、eラーニングを活用した健康に関する教育を年1回実施しています。全従業員を対象に健康診断受診の意義など健康に関連する問題を10問程度出題し、2020年度は92%と非常に高い受講率となりました。

トレーニング動画の配信

在宅勤務などにおける運動不足解消のため、当社が支援する7人制ラグビーチーム・サムライセブンに所属する社員選手によるトレーニング動画を配信しました。椅子に座りながら気軽にできるトレーニングをベースとしたメニューで、社内報などを通じて全社展開を行い、多くの反響がありました。



自宅でできるトレーニングを動画で解説

スクリーニング検査の実施

新型コロナウイルス感染が拡大する状況において、当社で働く従業員の命と健康を優先しクラスター感染を発生させないことを目的に、感染防止策として「新型コロナウイルス迅速検出システム」を導入し、従業員を対象にスクリーニング検査を実施しています。これまでに延べ2,500名の検査を行い、感染拡大防止に努めています。



スクリーニング検査の様子

作業所へのカウンセリング

不調を予防するとともに心身の健康を保持し、活力ある組織をつくることを目指し、支店で実施しているカウンセリングと併せて、産業カウンセラーによる作業所巡回カウンセリングを実施し、メンタル面のケアに取り組んでいます。生活状況、勤務状況、心身の健康状態などのチェック項目に基づいてカウンセリングを行い、必要に応じて産業医面談や追加カウンセリングへ誘導しています。2020年度は70作業所、延べ380名の面談を行い、作業所で働く従業員の悩みやメンタル面でのサポートを実施しました。